

# 復習シート 第六学年 国語

埼玉県学力学習状況調査



コバトン

組	
番号	
名前	

【話し合いを進める上で司会者の役割を理解する問題】

1 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。 **レベル7〜9**

山田さんのクラスでは、そうじが時間内に終わらない問題について話し合いをしています。次は、その【話し合いの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

【アンケート結果】

司会：これまでの話し合いで出された意見をまとめると、そうじが時間内に終わらない理由は二つにしばられるようです。一つは話をしてそうじをしない人がいること、もう一つはそうじ用具で遊んでいてそうじをしない人がいることです。それでは、問題を解決するには、どうすればよいと思いますか。

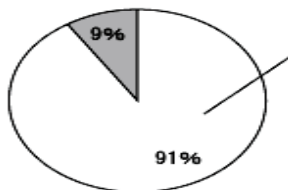
小山：そうじ中は何があっても、絶対に話してはいけない（無言そうじ）をするのがいいと思います。そうすれば、おしゃべりする人がいなくなるし、そうじ用具で遊ぶこともなくなり、そうじが早く終わります。

玉本：たしかに（無言そうじ）をすれば、そうじをしない人は減るかもしれませんが、不便になることも出てくると思います。この資料を見てください。クラスでアンケートを取ったところ、約九割（約）の人がそうじ中に話すと答えています。その中には、そうじの手を止めずに話せる内容や、そうじに必要な内容もあります。絶対に話してはいけないというルールは厳（きび）しすぎると思います。

福田：玉本さんの言うように、絶対に話をしないというのでは厳しすぎるので、「これだけはそうじの時間に話してもよい」という内容を一つ決めて、それ以外の話をしないようにすればよいと思います。

（話し合いは続く）

質問：「あなたはそうじ中に話すことがありますか」



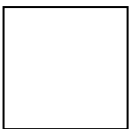
□ 話しすることがある    ■ 話しことはない

＜どのような内容を話すか＞

- 放課後の遊び
- お客様がいらしたときのあいさつ
- そうじの役割（やくわい）を決める相談
- 今日のできごと
- そうじをしていない人への注意

(1) この司会者の発言の内容を説明したものととして最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

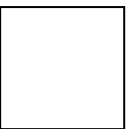
- 1 話し合いの議題に対しての、自分の立場や理由を示しながら、話し合いを進めようとしている。
- 2 みんなから出された意見とこれから話し合う内容を整理して、話し合いを進めようとしている。
- 3 話し合いの中で出された二つの問題のうち一つだけにしぼって、話し合いを進めようとしている。
- 4 話し合いが早く終わるように、あらかじめ司会者が結果を決めてから、話し合いを進めている。



(2) 話し合いを聞いていた山田さんは、小山さんの発言について、質問したい内容をカードにまとめました。カードの内容は、どのようなねらいをもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1〜4までの中から一つ選びましょう。

〈無言そうじ〉にすることで、なぜそうじ用具を使って遊ぶ人がいなくなるのか、その二つの関係がよく分からなかったので、もう少し詳しく説明してほしい。

- 1 発言の内容は、どのような考えに基づいているのかを知ろうとしている。
- 2 発言を繰り返すことで、正しく理解できているかを確認しようとしている。
- 3 考えを思いつくまでに、どのような資料を使ったのかを知ろうとしている。
- 4 提案によって、どのような問題を解決できるのかを確認しようとしている。



(3) あなたは福田さんの発言をうけて、そうじの時間に話してもよい内容を提案するにしました。あなたがそうじの時間に話してもよいと思う内容と、なぜその内容を話してもよいと思うのか、その理由を次の条件1から条件3にしたがって書きましょう。

条件1 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。

条件2 一段落目には、そうじの時間に話してもよいと思う内容を【アンケート結果】のへどのような内容を話すかの中に一つ選んで書くこと。

条件3 二段落目には、あなたがその内容について話してもよいと思う理由を具体的に書くこと。

※ 解答は、必ず解答用紙に書きましょう。左の原稿用紙は使っても使わなくてもかまいません。


8行                  6行

【話し合いの流れから意見を選択する・意図を明確にして話し合いを進める問題】  
 ② 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

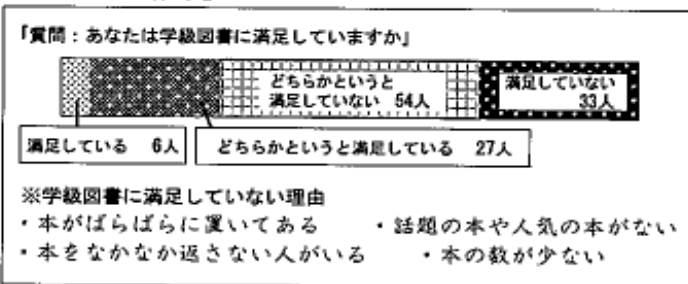
レベル6

田中さんのクラスでは、学級図書の利用について、話し合いをしています。次は、その【話し合いの一部】と話し合いのために学年全員にとった「アンケート結果」です。それらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

司会：今日は、学級図書をよりよく利用してもらうための方法について話し合いたいと思います。何か意見はありますか。  
 田中：今のように入がばらばらに置いてあると、本の名前をさがすのが大変で、読みたい気持ちになりません。  
 小山：興味がある本をすぐに見つけられるように、整理した方がいいと思います。  
 司会：どちらも、本をさがすのが大変だという意見ですね。では、どのように整理するかについて、意見のある人はいますか。  
 福田：わたしは「五十音順」になれば、読みたい本の題名がすぐに見つかると思います。  
 中村：わたしは、図かん、物語、科学読み物などの種類ごとに分けて整理すればいいと思います。  
 森本：  
 司会：森本さんは、福田さんと中村さんの意見を合わせて、発言してくれたんですね。他にありますか。  
 話し合いは続く。

【アンケート結果】



(1) ア で森本さんはどんな発言をしましたか。最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 五十音順にならべると、本を返すときもどの場所にもどしやすいからいいと思います。
- 2 種類ごとにならべると、好きな種類の本を何さつか見つけて選ぶことができます。
- 3 本の大きさに合わせてならべると、見た目がすっきりするからさがしやすくていいと思います。
- 4 種類ごとに分けて、その中で五十音順にならべると、題名でも種類でもさがせていいと思います。

(2) この司会の話し合いの進め方を説明したものととして最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 話し合いの議題に対しての、自分の立場や理由を示しながら、話し合いを進めている。
- 2 出された意見をそのままくり返してみんなに分かるようにしてから、話し合いを進めている。
- 3 これから話し合う内容やみんなから出された意見を整理しながら、話し合いを進めている。
- 4 話し合いが早く終わるように、あらかじめ結果を決めてから、話し合いを進めている。

(3) (アンケート結果) には、「本がばらばらに置いてある」以外にも、学級図書に満足していない理由が書かれています。あなたが解決したい問題を、解答用紙の〈学級図書に満足していない理由〉から一つ選びましょう。そして、次の「学級図書の問題を解決するためのヒント」をまどめた〈田中さんのノート〉を読んで、問題を解決する方法をあとどの条件1から条件3にしたがって書きましょう。

〈田中さんのノート〉

「学級図書の問題を解決するためのヒント」

- ① 本の学級貸し出し  
(市立図書館)  
申し込みをすると、学級単位で、図書館の本を、一ヶ月間に五十冊まで貸し出してくれる。
- ② 読みたい本アンケート  
(市立図書館)  
利用者に毎月アンケートをとって、どんな本を読みたいか調べている。
- ③ 貸し出しノート  
(学校の図書室)  
貸し出しのときには、借りた人の名前と借りた日、返す日を必ず記入するという手続きを行っている。

条件1 二段落構成で、六行以上、九行以内で書くこと。  
条件2 一段落目には、どの問題を解決したいのか、〈学級図書に満足していない理由〉から選んで書くこと。  
条件3 二段落目には、条件2で選んだ〈学級図書に満足していない理由〉を解決する方法を、〈田中さんのノート〉の「学級図書の問題を解決するためのヒント」の①～③のどれか一つを参考にしておくこと。その際、選んだヒントの中の言葉を使った書くこと。

あなたが解決したい〈学級図書に満足していない理由〉の番号に○をつけましょう。

- ① 話題の本や人気の本がない。
- ② 本をなかなか返さない人がいる。
- ③ 本の数が少ない。

9行										6行	

模範解答

復習シート 第六学年 国語

埼玉県学力学習状況調査



コバトン

組	番号	名前
---	----	----

【話し合いを進める上で司会者の役割を理解する問題】

1 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。 **レベル6〜8**

山田さんのクラスでは、そうじが時間内に終わらない問題について話し合いをしています。次は、その【話し合いの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

司会：これまでの話し合いで出された意見をまとめると、そうじが時間内に終わらない理由は二つにしばられるようです。一つは話をしてそうじをしない人がいること、もう一つはそうじ用具で遊んでいてそうじをしない人がいることです。それでは、問題を解決するには、どうすればよいと思いますか。

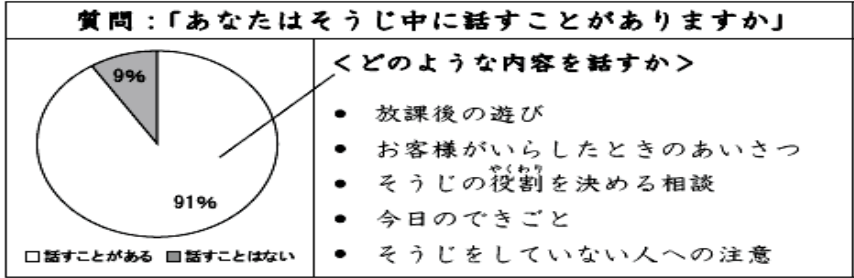
小山：そうじ中は何があっても、絶対に話してはいけない（無言そうじ）をするのがいいと思います。そうすれば、おしゃべりする人がいなくなるし、そうじ用具で遊ぶこともなくなり、そうじが早く終わります。

玉本：たしかに（無言そうじ）をすれば、そうじをしない人は減るかもしれませんが、不便になることも出てくると思います。この資料を見てください。クラスでアンケートを取ったところ、約九割の人がそうじ中に話すと答えています。その中には、そうじの手を止めずに話せる内容や、そうじに必要な内容もあります。絶対に話してはいけないというルールは厳しすぎると思います。

福田：玉本さんの言うように、絶対に話をしないというのでは厳しすぎるので、「これだけはそうじの時間に話してもよい」という内容を一つ決めて、それ以外の話をしないようにすればよいと思います。

（話し合いは続く）

【アンケート結果】



(1) この司会者の発言の内容を説明したものと最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 話し合いの議題に対しての、自分の立場や理由を示しながら、話し合いを進めようとしている。
- 2 みんなから出された意見とこれから話し合う内容を整理して、話し合いを進めようとしている。
- 3 話し合いの中で出された二つの問題のうち一つだけにしぼって、話し合いを進めようとしている。
- 4 話し合いが早く終わるように、あらかじめ司会者が結果を決めてから、話し合いを進めている。

レベル9

2

(2) 話し合いを聞いていた山田さんは、小山さんの発言について、質問したい内容をカードにまとめました。カードの内容は、どのようなねらいもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1〜4までの中から一つ選びましょう。

〈無言そうじ〉にすることで、なぜそうじ用具を使って遊ぶ人がいなくなるのか、その二つの関係がよく分からなかったので、もう少し詳しく説明してほしい。

- 1 発言の内容は、どのような考えに基づいているのかを知ろうとしている。
- 2 発言を繰り返すことで、正しく理解できているかを確認しようとしている。
- 3 考えを思いつくまでに、どのような資料を使ったのかを知ろうとしている。
- 4 提案によって、どのような問題を解決できるのかを確認しようとしている。

レベル9

1

(3) あなたは福田さんの発言を受けて、そうじの時間に話してもよい内容を提案することになりました。あなたがそうじの時間に話してもよいと思う内容と、なぜその内容を話してもよいと思うのか、その理由を次の**条件1**から**条件3**にしたがって書きましょう。

**条件1** 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。

**条件2** 一段落目には、そうじの時間に話してもよいと思う内容を【アンケート結果】のへどのよ  
うな内容を書きか）の中から一つ選んで書くこと。

**条件3** 二段落目には、あなたがその内容について話してもよいと思う理由を具体的に書くこと。

※ 解答は、必ず解答用紙に書きましょう。左の原稿用紙は使っても使わなくてもかまいません。

<b>8行</b>		<b>6行</b>											

(平成二十八年年度 埼玉県学力・学習状況調査)

わたしは、そうじの役割を決める相談は、話してもよいと思う。理由は、相談をすることで、同じ人が同じ役割ばかりすることなく、みんながいろいろな役割をすることができ、不公平がなくなるからだ。



【話し合いの流れから意見を選択する・意図を明確にして話し合いを進める問題】  
 ② 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

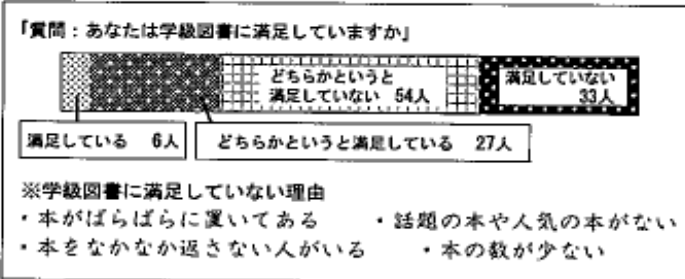
レベル6

田中さんのクラスでは、学級図書の利用について、話し合いをしています。次は、その【話し合いの一部】と話し合いのために学年全員にとった「アンケート結果」です。それらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

司会：今日は、学級図書をよりよく利用してもらうための方法について話し合いたいと思います。何か意見はありますか。  
 田中：今のように入がばらばらに置いてあると、本の名前をさがすのが大変で、読みたい気持ちになりません。  
 小山：興味がある本をすぐに見つけられるように、整理した方がいいと思います。  
 司会：どちらも、本をさがすのが大変だという意見ですね。では、どのように整理するかについて、意見のある人はいますか。  
 福田：わたしは「五十音順」になれば、読みたい本の題名がすぐに見つかると思います。  
 中村：わたしは、図かん、物語、科学読み物などの種類ごとに分けて整理すればいいと思います。  
 森本：  
 司会：森本さんは、福田さんと中村さんの意見を合わせて、発言してくれたんですね。他にありますか。  
 話し合いは続く。

【アンケート結果】



(1) **ア** で森本さんはどんな発言をしましたか。最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 五十音順にならべると、本を返すときもどの場所にもどしやすいからいいと思います。
- 2 種類ごとにならべると、好きな種類の本を何さつか見つけて選ぶことができていいと思います。
- 3 本の大きさに合わせてならべると、見た目がすっきりするからさがしやすくていいと思います。
- 4 種類ごとに分けて、その中で五十音順にならべると、題名でも種類でもさがせていいと思います。

4

(2) この司会の話し合いの進め方を説明したものととして最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 話し合いの議題に対しての、自分の立場や理由を示しながら、話し合いを進めている。
- 2 出された意見をそのままくり返してみんなに分かるようにしてから、話し合いを進めている。
- 3 これから話し合う内容やみんなから出された意見を整理しながら、話し合いを進めている。
- 4 話し合いが早く終わるように、あらかじめ結果を決めてから、話し合いを進めている。

3

(3) 「アンケート結果」には、「本がばらばらに置いてある」以外にも、学級図書に満足していない理由が書かれています。あなたが解決したい問題を、解答用紙の〈学級図書に満足していない理由〉から一つ選びましょう。そして、次の「学級図書の問題を解決するためのヒント」をまとめた〈田中さんのノート〉を読んで、問題を解決する方法をあとどの条件1から条件3にしたがって書きましょう。

〈田中さんのノート〉

「学級図書の問題を解決するためのヒント」

① 本の学級貸し出し  
(市立図書館)  
申しこみをする、と、学級単位で、図書館の本を、一ヶ月間に五十さつまで貸し出してくれる。

② 読みたい本アンケート  
(市立図書館)  
利用者に毎月アンケートをとって、どんな本を読みたいか調べている。

③ 貸し出しノート  
(学校の図書室)  
貸し出しのときには、借りた人の名前と借りた日、返す日を必ず記入するという手続きを行っている。

条件1 二段落構成で、六行以上、九行以内で書くこと。

条件2 一段落目には、どの問題を解決したいのか、〈学級図書に満足していない理由〉から選んで書くこと。

条件3 二段落目には、条件2で選んだ〈学級図書に満足していない理由〉を解決する方法を、〈田中さんのノート〉の「学級図書の問題を解決するためのヒント」の①～③のどれか一つを参考に書いて書くこと。その際、選んだヒントの中の言葉を使って書くこと。

あなたが解決したい〈学級図書に満足していない理由〉の番号に○をつけましょう。

① 話題の本や人気の本がない。

② 本をなかなか返さない人がいる。

③ 本の数が少ない。


9行

6行

## 解答例

### ①を選択

わたしは、話題の本や人気のない本がないことを解決したいと思います。

市立図書館のように、クラスのみんなにアンケートをとって読みたい本を調べれば、話題の本や人気の本を読めるようになると思います。

### ②を選択

わたしは、本をなかなか返さない人がいるという問題を解決したいです。

学級図書でも本を貸し出すときに、貸出ノートを作って必ず名前を書くようにすれば忘れずに本を返すようになると思います。

### ③を選択

わたしは、本の数が少ないことを解決したいと思います。

図書館の、本の学級貸し出しを利用すればいいと思います。図書館が本を五十さつまで貸してくれるのなら、本の数が少ないことはなくなると思います。